

久米島 MAP



- 航空路線**
- 1 久米島 ↔ 東京 ……約2時間35分
*A:夏季限定
 - 2 沖縄本島 ↔ 久米島 ……約35分
- 船舶路線**
- 1 沖縄本島 ↔ 渡名喜 ↔ 久米島 ……約3時間20分～約4時間
 - 2 久米島 ↔ 渡名喜島 ……約1時間30分
 - 3 沖縄本島 ↔ 久米島 ……約2時間50分～3時間15分



掲載離島役所・観光協会 久米島町観光協会 ……TEL.098-896-7010 | 久米島町商工観光課 ……TEL.098-851-9162 | 久米島空港観光案内所 ……TEL.098-985-5288

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
 沖縄県那覇市字小禄 1831-1
 (沖縄産業支援センター 2F)
TEL.098-859-6123(代表)

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
 東京事務所
 東京都千代田区有楽町 2-10-1
 (東京交通会館 3F)
TEL.03-5220-5311

沖縄県文化観光スポーツ部
 観光振興課
 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
TEL.098-866-2764

※記載情報は「2019年1月」現在のものであり、予告無く変更している場合があります。 ※許可なく転載・複製することを禁じます。

OKINAWA リトハク

沖縄 久米島

くめじま





ハテの浜

久米島の沖合約5kmに浮かぶ真っ白な砂浜だけの島。
メーヌ浜、ナカノ浜、ハテの浜の3つの砂州を総称して
「ハテの浜」といいます。

畳石

久米島と橋で繋がった奥武島の南海岸にある国指定天然記念物の奇岩群。千個以上もずらりと並ぶ亀の甲羅のような岩は、安山岩質の溶岩がゆっくり冷えて岩石になる時にできたもので、世界的にも希少。まさに自然が創り出した芸術作品です。



シンリ浜の夕景

サンセットのスポットとして人気のビーチ。沈みゆく美しい夕陽の大パノラマは圧巻の美しさ。また、空港の滑走路が近いため、飛行機の迫力ある離発着を間近で見ることができます。

ちょっと先にある、
もうひとつの🍀楽園



琉球の島々の中で 最も美しいと 讃えられた島

沖縄本島から西に約100 km の東シナ海に位置し、久米島
及び奥武島の有人離島、オー八島、鳥島、硫黄鳥島の無人島
の5つの島で構成される久米島エリア。

かつての琉球王朝時代には、数ある島々の中でも特に美し
いとされ、「球美の島(くみのしま)」と讃えられた自然豊かな
島です。ミネラル豊富で清浄な海洋深層水を使った海ぶどう
や車エビの養殖も盛んで、グルメな旅人たちも魅了してい
ます。約7 km にも及ぶ真っ白な砂浜とエメラルドグリーン
の海のコントラストが見事な「八テの浜」、亀の甲羅のような
奇岩群が砂浜に一面に広がる「壘石」など、ここだけでしか見
られない景色があなたを待っています。美しい自然の中で静
かでゆったりとした島時間を満喫してみませんか。

沖縄県久米島の島々の紹介



久米島

島全体が県立自然公園に指定されている自然豊かで風光明媚な島です。



奥武島(おうじま)

久米島の東の沖合に位置し、久米島から橋で渡れる島。壘石やバーデハウス、ウミガメ館等の観光スポットがあります。

島旅の心得 & 対策

1. 宿泊する際は、あらかじめ宿を予約しましょう。
2. 旅行がきまったら台風や気象情報には注意しましょう。
3. 水は大切に使いましょう。
4. 季節問わず紫外線の対策を徹底しましょう。
5. 水着姿や上半身「はだか」などで歩かない。
6. 動植物や鉱物は勝手に持ち出したりしてはいけません。
7. ゴミは持ち帰りましょう。

観光 スポット・ 体験



ミーフガー

風と潮の浸食によって自然が作り上げた奇岩。古くから子室に恵まれない女性が押むと、ご利益があると伝えられています。5月になると周辺には白いテッポウユリが咲き乱れ、多くの人が花見に訪れます。夏至の時期には岩の裂け目から朝日が差し込む神々しい光景を眺めることができます。

久米島博物館

島の歴史や文化、自然環境などを分かりやすく紹介しているの、島を観光する前に立ち寄るのもおすすめです。



宇江城城跡

琉球王国時代に島で最も高い場所に築かれた城跡。ここからの眺めは360度広がる大パノラマの絶景!全島を見渡すことが出来る場所として有名で、晴れた日には粟国島や渡名喜島、沖縄本島も眺望することができます。



イーフビーチ

日本の渚100選にも選ばれた真っ白な砂浜が約2kmも続くビーチ



五枝の松

国指定天然記念物で、日本の名松百選にも選ばれている樹齢250年余の琉球松。上へは伸びず地面を這うように堂々と伸びており、1本の松とは思えない迫力です。



久米島ウミガメ館
ウミガメの生態を学ぶことができる施設。大水槽でゆったりと泳ぐウミガメ達を見ることができ、ウミガメとのふれあい体験もできます。



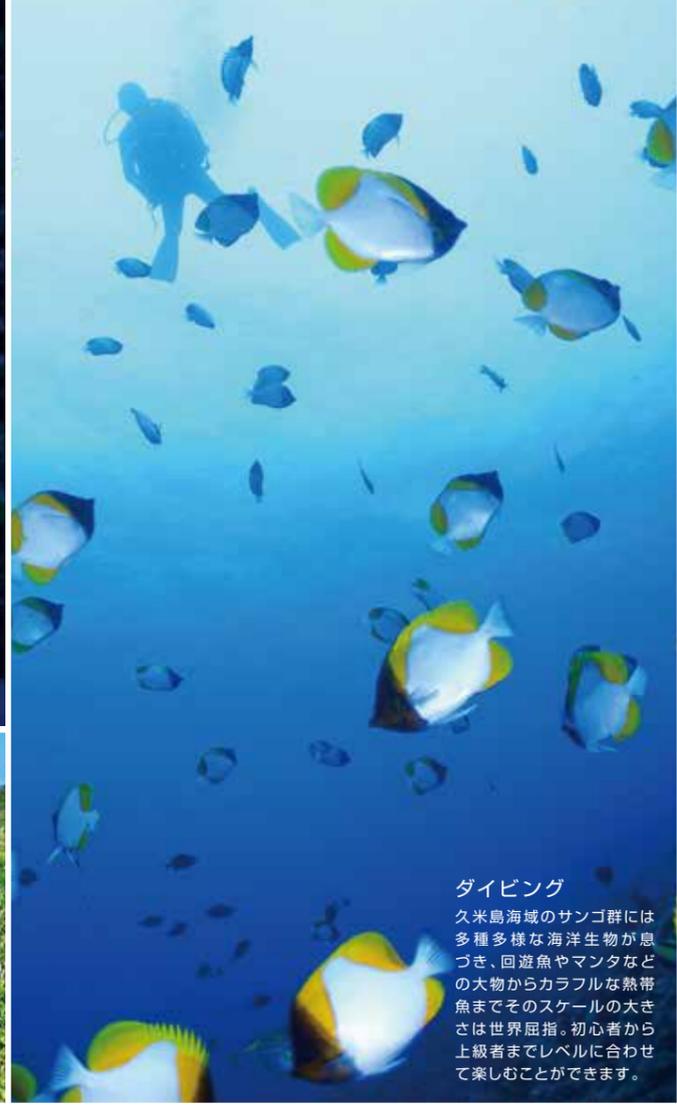
上江洲家
国の重要文化財に指定されている上江洲家(うえすけ)住宅は、1750年頃に建てられた琉球王朝時代の旧家。立派な石垣とフクギの木に囲まれ、当時の面影が色濃く残る建築物です。



具志川城跡
15世紀初頭に島を制覇していた制司(あじ・領主的豪族)の居城跡です。青磁片が出土するなど、南海貿易の歴史の一端をうかがわせる貴重な遺跡です。



ホタル観賞
自然豊かで水の美しい久米島には、この島だけに生息するクメジマホタルをはじめ、数種類のホタルが生息しています。ホタルは成虫だけではなく、幼虫も光り輝き、飛翔の時期も違うため、幅広い季節で癒しの光を観賞できます。ガイドツアーに参加しての観賞がおすすめです。



ダイビング
久米島海域のサンゴ群には多種多様な海洋生物が息つき、回遊魚やマンタなどの大物からカラフルな熱帯魚までそのスケールの大きさは世界屈指。初心者から上級者までレベルに合わせて楽しむことができます。



比屋定バンタ
高さ200mの断崖絶壁の景勝地、比屋定バンタ。展望台からは心地よい風に吹かれて、雄大なパノラマを堪能することができます。



クメノサクラ
3月中旬から下旬にかけて咲く久米島自生の桜。散る時に花自体が丸ごと落ちる沖縄の桜とは違い一枚一枚ひらひらと舞い落ちるのが特徴です。



乗馬体験
のんびりと馬に乗って海や山をお散歩。高い位置から見る景色はいつもとは違う景色が楽しめます。馬にふれあい、非日常なお散歩を体験してみてください。



おばけ坂
上り坂の途中で車のギアをニュートラルにすると、不思議なことに車が坂道を上るミステリースポット。



サイクリング
島内では自転車のレンタルも行っているため、朝の清々しい空気の中でのサイクリングもおおすすめです。

Model Course
1泊2日
久米島・奥武島
久米島のおすすめの巡り方



秋冬の楽しみ方



ハワイアンフェスティバル
年に1度久米島で開かれるハワイアンフェスティバル。ゆったりとした時間の中で優雅なフラダンスを楽しむことができます。



久米島紬の里 ユイマール館
国の重要無形文化財にも指定されている久米島紬の資料館・人材育成施設。紬を織る作業の見学ができる他、実際に機織りや染色の体験をすることもできます。



久米島マラソン
体づくりのために全国のランナーを迎え、「FUN RUN(楽しく走ろう)」をモットーに開催。島のさとうきび畑の中を走り抜けるのは爽快!レース後は島民がエイサーなどの郷土芸能で歓迎してくれる「ふれあいパーティー」で盛り上がります。



星空観察
人工的な光の少ない久米島では、夜になると満点の星空を観察することができます。



ショウキズイセン
鮮やかな黄金色の花を咲かせるヒガンバナ科のショウキズイセンは9月中旬から10月頃に一斉に咲き始め見ごろを迎えます。



久米紅(くめくれなひ)
中国から伝来したと言われる久米島固有種の椿「久米紅」。深紅の大きな花が一年中絶やすことなく緑に表情を与えています。



クメジマツツジ
だるま山林道では、2月から3月にかけて、赤く染まったツツジが見ごろを迎えます。



パークゴルフ (久米島シーサイドパークゴルフ場)
パークゴルフは、ルールがシンプルで世代を超えて気軽に楽しめるスポーツ。久米島には県内最大級のパークゴルフ場があり、美しい海を望めるロケーションでプレイすることができます。



久米島車エビフェスタ
島民も観光客もみんな楽しんで、旬の車エビが堪能できるイベント。会場では様々な車エビメニューを味わうこともできます。



シュガーライド 久米島
美しい海岸線や、自然豊かな林道を通る南の島ならではのサイクルイベント。初めて大会に挑戦する人から本格派アスリートまで楽しめます。



ニブチの森
2008年にラムサール条約に登録された、宇江城岳を源流とする溪流と湿地、森林を中心とする地域。貴重な野生生物が数多く生息しています。森を知り尽くす島のガイドさんに案内してもらって散策ツアーがおおすすめです。



ホエールウォッチング
沖繩近海には、1月から3月にかけてザトウクジラがやってきます。ホエールウォッチングツアーの他、運が良ければ那覇から久米島間の定期船や、島の展望台から見えることもあります。



アーラ浜の夕陽
アーラ浜は、観光客も少なくプライベートビーチ感が味わえる地元の人にも人気のスポット。特に夕暮れ時には美しい夕陽を楽しむことができます。



ナイトツアー
川や緑地を巡りながら、季節ごとに見られる生き物たちの美しさと不思議をガイドの解説で楽しく見学することができます。冬の時期には光るホタルの幼虫を観察することができます。



バーデハウス久米島
久米島沖水深612mの深海から汲み上げたミネラル豊富な海洋深層水を使用した温浴施設。恵み豊かな深層水で上質なリラクゼーションを満喫できます。



グルメ・特産品



紅イモモンブラン
久米島産の紅芋「美ら恋」を使用しており、お酒は使わず、紅芋本来の味を味わえるケーキです。



紅芋シュークリーム
地元でも大人気の紅芋シュークリームは久米島産の紫芋「沖夢紫」を100%使用し、シュー生地から仕上げまでの工程をすべて手作りで作っています。

紅イモ

その他グルメ



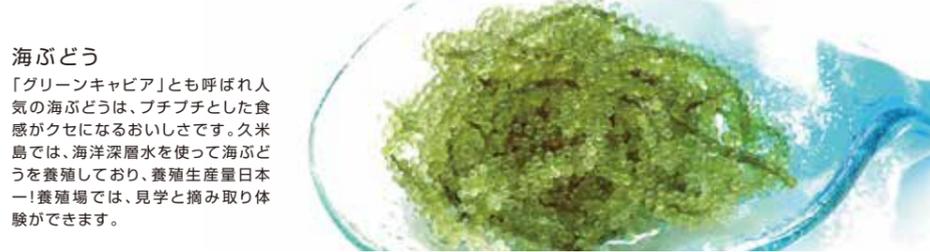
久米島そば
海洋深層水純水入りの自家製麺と、久米島味噌のスープに、湧水で栽培されたもやしをトッピングした、地元の素材がたっぷりつまったそばです。



久米島赤鶏の握り
1万坪の敷地でのびのびとノンストレスな環境で育てられている久米島赤鶏。一般の配合飼料は使わず、独自に開発した飼料と、久米島の湧き水のおかげで、肉質が良く、鶏の旨味が口の中に広がります。



もずく
久米島の海で育ったもずくは、一本一本に太さがあり、歯ごたえのある食感が魅力です。



海ぶどう
「グリーンキャビア」とも呼ばれ人気の海ぶどうは、プチプチとした食感がクセになるおいしさです。久米島では、海洋深層水を使って海ぶどうを養殖しており、養殖生産量日本一！養殖場では、見学と摘み取り体験ができます。



泡盛
久米島には「久米島の久米仙」と「米島酒造」の2つの泡盛酒造所があります。久米島の良質な水から生まれた味わい深い泡盛は島内外問わず人気。



車エビバーガー
ふわふわのパンに久米島産車エビのフライとタルタルソースを挟んだ「車エビフライバーガー」は、プリプリのエビの食感がやみつきになる美味しさです。



ガーリックシュリンプ
久米島産の車エビを贅沢に使用したハワイアン料理のガーリックシュリンプです。ガーリックの香りと、久米島産シークワサーの独特な酸味が絶妙に合さり、食欲を掻き立てます。



車エビの塩焼き
自慢の車エビに塩をふり焼いた塩焼きは、エビの旨みがギュッと詰まった一品です。ぜひ頭から食べてみてください。

久米島の車エビは日本一の生産量を誇ります。海洋深層水を使用し育てた車エビを使った料理をぜひご賞味下さい。



車エビそば
島の素材にこだわり、久米島産の車エビや久米島みそ、惣慶もやしを使用した新たな名物そば。出汁にも車エビを使用し濃厚なエビの旨味を丸ごと味わえます。

車エビ特集

特産品・お土産



みそクッキー
久米島のお土産といえばみそクッキー。香ばしい久米島味噌を贅沢に使い、味噌の香りとほどよい甘さは地元で愛される大ベストセラーお菓子です。



久米島珈琲
オーガニックの生豆を島内で焙煎した久米島珈琲は、しっかりしたコーヒーの深味の中、ほのかに甘さがある。普段ミルクやお砂糖を入れて飲む方も、まずは何も加えずブラックで味を楽しんでみてください。



久米島紬
15世紀後半、中国より養蚕技術を持ち帰り絹織物を織り始めたのが起源とされています。島に自生する植物のみを用いて染色を行うことが特徴で、国指定重要無形文化財にも認定されている伝統技術。コースター織やショールの染体験ができます。



3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

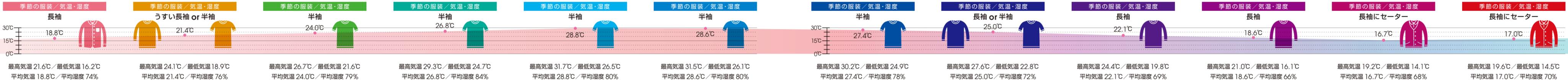
10月

11月

12月

1月

2月



<ul style="list-style-type: none"> ● 海びらき ● シンリ浜、イーブビーチ ● 久米島ホテルまつり <p>海びらき:イーブビーチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 宜野湾～久米島ヨットレース <p>宜野湾～久米島ヨットレース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ハーリー (旧暦5月4日) ● 久米島海洋深層水の日 (記念日6月12日) ● Sea Water Dream フェスティバル ● 真謝稲穂祭角力大会 (旧暦5月15日) <p>ハーリー</p> <p>深層水の日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 儀間志良堂蔵角力大会 (旧暦6月25日) ● 謝名堂南謝門角力大会 (旧暦6月26日) <p>角力大会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 久米島まつり ● 西銘エイサー・角力大会 ● 各地旧盆エイサー <p>久米島まつり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 球美(くみ)の日(記念日9月3日) ● 仲地角力大会(旧暦9月17日) ● ハワイアンフェスティバル ● 兼城獅子舞 ● 古典民謡大会 <p>ハワイアンフェスティバル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 久米島マラソン <p>久米島マラソン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 久米島車エビフェスタ ● シュガーライド久米島 <p>久米島車エビフェスタ</p> <p>シュガーライド久米島</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 久米島町産業まつり ● 久米島町ふれあい駅伝大会 <p>久米島町産業まつり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 久米島のんびりウォーク <p>久米島のんびりウォーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロ野球キャンプ ● 久米島袖の日(記念日2月6日) <p>久米島袖の日</p>
4月中旬～5月上旬 クメジマボタル	4月下旬～5月中旬 クロイワボタル	4月下旬～6月中旬、 8月下旬～10月中旬 オキナワスジボタル	7月下旬～12月下旬 ホテルの幼虫							

2月～3月 クメジマツツジ	3月中旬～下旬 クメノサクラ	4月～5月 テッポウユリ	ハイビスカス・ブーゲンビリア(通年)			9月中旬～10月 ショウキズイセン	ハイビスカス・ブーゲンビリア(通年)			1月中旬～2月 寒耕桜	1月中旬～2月 久米紅
11月～3月 車エビ	4月～6月 モスク	6月～8月 パイナップル・マンゴー	9月～10月 シークワサー	9月～10月 シークワサー	9月～10月 シークワサー	11月～3月 車エビ	ハイビスカス・ブーゲンビリア(通年)			パパイア・紅芋・海ぶどう(通年)	

祭りやイベントは変更になる場合もあります。
また、伝統行事は旧暦で開催されます。事前にご確認ください。
お問い合わせは裏表紙をご覧ください。